

—113号目次—

●第39回学術大会大会長挨拶	1
●第39回学術大会ご案内（第2報）	2
▼会員登録情報確認のお願い	7
▼「第14期理事・監事選挙」結果の公示	8
♣第113回東京支部研究会実施報告	8
♣【本の紹介】 矢原隆行著「矯正職員のためのリフレクティング・プロセス」	9
▽「中川記念奨励賞」候補者ならびに「奨励研究員」の募集・「投稿論文」の募集・事務局だよりなど	10

## ●第39回日本保健医療行動科学会学術大会 大会長挨拶

深井 穂博（深井保健科学研究所）

### 「人生100年時代の保健医療行動科学」



今年の学術大会のテーマは、“人生100年時代の保健医療行動科学”としました。2025年、団塊の世代の全ての人々が75歳以上となり、日本人口の約5人に1人が後期高齢者となる年です。国はこの2025年までに効率的かつ質の高い医療提供体制を構築すると共に、地域包括ケアシステムを推進することを通じて地域における医療および介護を総合的に確保していくという目標を再三提示して来ました。また、団塊ジュニア世代が65歳以上となり、わが国の高齢者人口がピークを迎える「2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、75歳以上とする」ことを目標にしています（厚生労働省，2019）。

本学会は、1986年に発足しました。発足時に示された本学会設立の目的は、「人間の健康にかかわる行動（個人・集団・社会）の変容過程を実証的、体系論的に解明しようとする健康行動科学に関する研究・教育の発展のために、社会・人文科学、自然科学の各分野の国内・外研究や学習の場づくり」とされています。この研究・実践の対象者は、年齢の違いや病気や障害の有無にかかわらず全ての人々です。当時の日本人の平均寿命は、男性で75.2歳、女性で80.9歳でした。その後、約40年が経過した2023年調査では、男性で81.1歳、女性で87.1歳（厚生労働省，2024）まで寿命は延びてきました。生存率で見ると男性の四人に一人、女性の二人に一人は90歳以上まで生きられる時代です。しかしその一方、高齢になるほど、病気になる、あるいは要介護状態となるリスクが高まることは生物学的に避けることができないのも事実です。

この高齢者の行動変容を促す支援の必要性は、死亡や要介護状態を引き起こす原因からも示されています。日本人の死亡原因では、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算する死因別死亡確率で見ると、0歳では、脳血管疾患、脳血管疾患という非感染性疾患（NCDs）が男女いずれも40%を超え、90歳では10ポイントほど低下しますが、生活習慣の改善と社会環境の整備によるNCDs予防の

重要性はかわりません。また、要介護状態になる原因でも、脳血管疾患、関節疾患、骨折転倒、認知症などが上位を占めていますので、NCDsおよびフレイル予防を促す健康行動の変容と維持のための専門職と周囲の人々からの支援、および社会環境の改善がより求められる時代です。

一方、働き盛りの成人期、社会人となる前の思春期等と比較して、多病、暦年齢だけでは捉えられない多様性、豊富な人生の経験と知識を有するという特性をもつのが高齢者です。この高齢者の健康とウェルビーイングのための行動変容については未知の点が多く、分野を超えた専門職や当事者の議論が必要です。しかも“人生100年時代の保健医療行動科学”には、高齢者に対して、その特性を踏まえた対応と、小児期、思春期、成人期、高齢期というライフコースにおける健康リスクの蓄積を予防するというライフコースアプローチという二つの観点があります。

このような背景から、本学術大会では、一般演題と共に、大会テーマにそった基調講演、特別講演、4つの体験型ワークショップ、および2題のシンポジウムを企画しています。多分野の専門家からなる本学会の特性を踏まえた議論を期待すると共に、運営委員一同、皆様のご参加をお待ちしています。

## ●第39回日本保健医療行動科学学会学術大会のご案内（第2報）

■テーマ：人生100年時代の保健医療行動科学

■会期：2025年6月21日(土)・22日(日)

■会場：明海大学浦安キャンパス

■大会長：深井穂博(深井保健科学研究所)

■主催：日本保健医療行動科学学会

■実施主体：第39回日本保健医療行動科学学会学術大会運営チーム

※最新情報は、随時、第39回大会Webサイトに掲載されますので、そちらを確認してください。

<https://www.jahbs.info/taikai39.html>



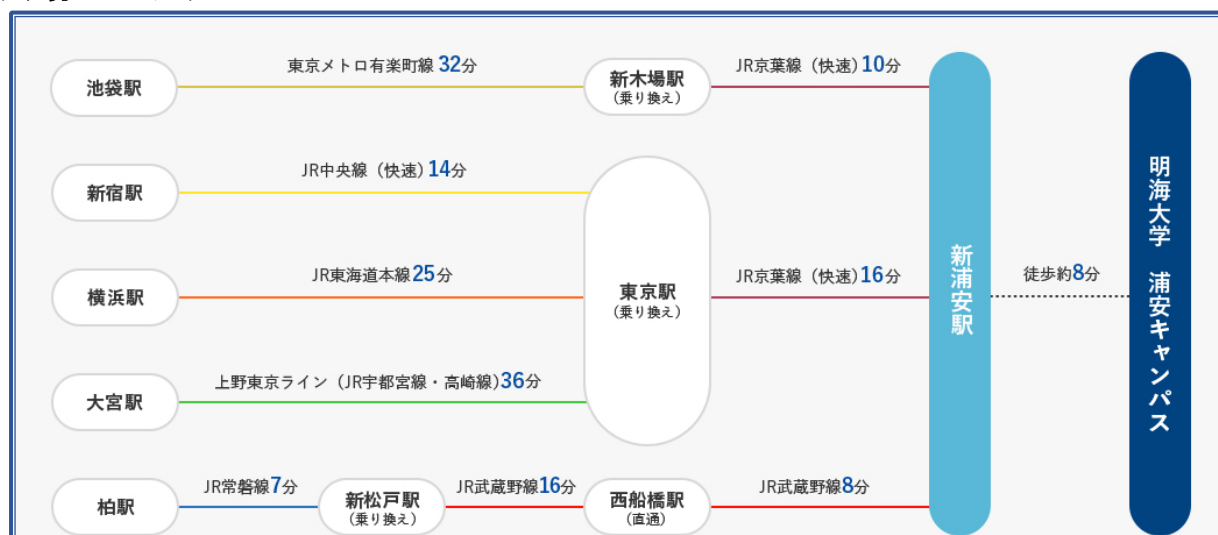
※「プログラム・抄録集」は、冊子およびWebデジタル版となります。Wi-Fi環境は整っておりますので、当日にWebデジタル版ご利用の方はスマホ、タブレット、ノートPC等の端末をご持参ください。開催前にお知らせするアドレスから「プログラム・抄録集」を事前にダウンロードいただくことも可能です。

「プログラム・抄録集（冊子）」につきましては当日会場で配布予定です。



明海大学浦安キャンパス

### ■会場へのアクセス





**▼プログラム概要**（内容・時間は変更される場合があります。）

**6月21日(土)**

11:00～ 受付開始  
11:30～12:50 拡大理事会・顧問評議員会  
13:00～13:50 総会  
14:00～14:50 開会の言葉  
**基調講演「健康長寿と歯科医療・口腔保健」**  
深井穫博（深井保健科学研究所） \* 市民無料公開講座

15:00～17:00 **体験学習ワークショップ**

\* 体験ワークショップの参加申込は5月中旬から。参加申込フォームを大会Webページに掲載しますのでそちらからのお申込みをお願いいたします。  
\* 一般公募ワークショップについては現在募集中です。  
\* すべてのワークショップの市民無料公開を検討中

**1)「歯科医療とコミュニケーション」(仮)**

歯科チーム（深井穫博、吉野浩一、萩名子）

**2)「多職種連携で創る人生百年時代」(仮)**

二瓶映美（秀明大学）

**3)「こどもとかぞくのヘルスエスノグラフィ」**

道信良子（福井県立大学）

**4)一般公募ワークショップ(募集中)**

17:30～ 懇親会（明海大学内）

**6月22日(日)**

09:00～ 受付開始  
09:30～11:30 **一般演題口頭発表**  
11:40～12:10 **一般演題ポスターセッション**  
※発表は2日目のみ。ポスターは10:00から掲示、セッション終了後16:10までに撤去。  
13:00～13:50 **特別講演**  
**「共有意思決定〈Shared Decision Making: SDM〉— 共創とエンパワメントに向けて—** 中山健夫（京都大学大学院）  
14:00～15:00 **シンポジウム I「知のシェアリング:健康関連学会のつながりと役割」**  
1) 日本健康教育学会 理事長 武見ゆかり  
2) 日本行動医学会 前理事長・顧問 井上茂  
3) 日本保健医療行動科学 第13期会長 諏訪茂樹  
15:10～16:10 **シンポジウム II「人生100年時代の保健医療行動科学」**  
1) いつまでもおいしく食べる—たがね餅を通じた歯科的コミナス活動  
萩名子（明海大学）  
2) 「変わる」とは:高齢者の生活と行動変容(仮)  
徐淑子（新潟県立看護大学）  
3) 人生100年時代を笑顔で謳歌! 歩く力と交流で築く、心身の健康長寿  
石橋タミ（東京女子医科大学）  
16:10 閉会の言葉（第14期学会長）

## ▼参加事前申込みと懇親会について

### ●参加費等

事前申込参加費：会員 ¥5,000、非会員 ¥6,000、大学院生 ¥4,000、学生 ¥3,000

※事前に振込み **(5月31日まで)**

当日申込参加費：会員 ¥6,000、非会員 ¥7,000、大学院生 ¥5,000、学生 ¥4,000

※当日受付にて支払

課税区分：会員 不課税、非会員 課税（上記金額は税込み）

### ●懇親会

懇親会費：会員・非会員 ¥5,000（税込）

※席に限りがあるため事前申込者を優先します。残席がある場合は当日にお申込みいただけます。

### ●申込方法

参加事前申込アドレスのGoogleフォームに必要事項を入力して送信のうえ、参加費等のお払込をお願いします。

※送信後に回答コピーメールが届かず、迷惑メールトレイにも自動分類されていない場合、ご自身のメールアドレスの誤入力と考えられますので、もう一度やり直してください。また、メール受信を制限されている方は、回答コピーメール( forms-receipts-noreply@google.com )を受信できるよう、設定の変更をお願いします。

### ●申込アドレス：<https://forms.gle/kRQPXY1CMi48KyoF8>

### ●参加費等振込先：

**三菱UFJ銀行 東京女子医大出張所（店番315）**

**普通口座 3673423 日本保健医療行動科学会 諏訪 茂樹**

※参加費等振込みの完了をもって申込済みとなります。

※お一人ずつお振込み下さい。複数人あわせてのお振込みはできません。

※振込み手数料は申込者ご自身でご負担ください。

※一旦お振込みいただいた参加費等は、キャンセルや欠席の場合にも返金致しません。

※領収証の送付は同年6月7日以降となりますので、お振込み記録の保管をお願い致します。

### ●事前申込及び参加費等振込の期間：

**2025年3月1日～5月31日**

## ▼一般演題発表について

一般演題発表は共同発表者も含めて会員のみにより、学術研究に関するものを「研究報告」、実践等に関するものを「実践報告」とします。両報告とも保健医療行動科学に関するものとし、その目的（ないし目標）、方法、結果（もしくは現状）、考察（評価や残された課題）、文献等を発表してください。両報告ともに口頭発表もしくはポスター発表でご応募いただけます**(4月30日まで)**。

### ●口頭発表（発表時間15分＋質疑応答10分）

パワーポイントのみでの発表となります。会場ではWindowsパソコンをご用意いたします。パワーポイントの電子ファイルをUSBフラッシュメモリーにてご持参のうえ、受付を済ませて9時15分までに発表会場へお越し下さい。ご用意いただいた印刷資料の配布（50部程度）はご自由ですが、会場での印刷コピーはできません。

※申込が多数の場合、申込締切り後にポスター発表への変更をお願いすることもあります。

※申込締切り後に抄録を審査し、5月中旬に審査結果や発表会場などをお知らせいたします。

### ●ポスター発表（ポスターサイズ:ヨコ90cm×タテ180cm 1枚）

ポスターは6月22日（2日目）の10:00から掲示し、セッション終了後16:10までに外していただきます。また、6月22日11:40-12:10のポスターセッションにて、ポスター前での質疑応答をお願いします。

※申込が多数の場合、申込締切り後に口頭発表への変更をお願いすることもあります。

※申込締切り後に抄録を審査し、5月中旬に審査結果や発表会場などをお知らせいたします。

### ●抄録の執筆

次のアドレスから抄録テンプレートをダウンロードし、A4サイズ1枚に入力のうえ、後にページ数挿入のためにワードファイルのまま、ファイル名を演題タイトルにして提出して下さい。テンプレートの余白、ヘッダ、フォントサイズなどのページ設定は変更しないで下さい。

### ●抄録テンプレート：[ippanendai.template.docx](http://ippanendai.template.docx)

※採択された抄録の著作権は日本保健医療行動科学会に帰属します。

※発表抄録は電子化されWebサイト等で公開される場合があります。

### ●申込み方法

次の申込アドレスのGoogleフォームに必要事項を入力の上、抄録執筆テンプレートに入力したワードファイルを添えて送信して下さい。

※送信後に回答コピーメールが届かず、迷惑メールトレイにも自動分類されていない場合、ご自身のメールアドレスの誤入力と考えられますので、もう一度やり直して下さい。また、メール受信を制限されている方は、回答コピーメール( forms-receipts-noreply@google.com )を受信できるよう、設定の変更をお願いします。

### ●申込アドレス：<https://forms.gle/Ayx5E7nRVCq4PTVU7>

### ●申込期間：2025年3月1日～4月30日 ※延長なし



## ●抄録の審査基準

1) 発表内容は保健医療行動科学に関する研究または実践等であり、国内外を問わず未発表のものである。

2) 人もしくは動物を対象とした研究や実践の場合、倫理的配慮について抄録の本文中に明記されており、さらに人が対象の研究においては、研究の計画立案や実施にあたって、所属研究機関あるいは所属施設の研究倫理委員会ないしはそれに準じる機関等の承認を得たことが本文中に記載されている。

3) 利益相反の有無について本文中に記載されている。

参照：日本保健医療行動科学会利益相反に関する指針

※審査結果のお知らせ（5月中旬）後、5月31日までに事前参加申込（別記）をお願いします。

## ●非会員の方へ

一般演題の発表者は、共同発表者を含めてすべて会員である必要があります。非会員の方は4月30日までに☆入会手続きをお済ませのうえ、★発表申込と★事前参加申込をお願い致します。

なお、☆入会手続き先（学会本部事務局）は、★発表申込先および★事前参加申込先（第39回学術大会運営チーム）とは異なりますのでご注意ください。

## ▼体験学習ワークショップ企画(一般公募)について

体験学習ワークショップ（交流集会を含む）企画の一般公募は、会員が主体的に企画・運営し、体験型の演習や参加者同士のディスカッションを行うことを目的としています。保健医療行動科学に関連するテーマをそれぞれが自由に設定できます。企画者の責任において開催することをご考慮のうえご応募ください(4月30日まで)。

## ●開催形式等

持ち時間120分の自主運営。

## ●抄録の執筆

次のアドレスから抄録テンプレートをダウンロードし、A4サイズ1枚に入力のうえ、後にページ数挿入のためにワードファイルのまま、ファイル名を体験学習ワークショップ・交流集会タイトルにして提出して下さい。テンプレートの余白、ヘッダ、フォントサイズなどのページ設定は変更しないで下さい。

## ●抄録テンプレート：[ws.meeting.template.docx](https://www.jshpa.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/04/ws.meeting.template.docx)

※採択された抄録の著作権は日本保健医療行動科学会に帰属します。

※発表抄録は電子化されWebサイト等で公開される場合があります。

## ●申込み方法

次の申込アドレスのGoogleフォームに必要事項を入力の上、抄録執筆テンプレートに入力したワードファイルを添えて送信して下さい。

※送信後に回答コピーメールが届かず、迷惑メールトレイにも自動分類されていない場合、ご自身のメールアドレスの誤入力と考えられますので、もう一度やり直して下さい。また、メール受信を制限されている方は、回答コピーメール(forms-receipts-noreply@google.com)を受信できるよう、設定の変更をお願いします。

●申込アドレス：<https://forms.gle/CHUj93SfdwRGYAg37>

●申込期間：2025年3月1日～4月30日

### ●非会員の方へ

体験学習ワークショップの企画者は、共同企画者を含めてすべて会員である必要があります。非会員の方は4月30日までに☆入会手続きをお済ませのうえ、★発表申込と★事前参加申込をお願い致します。

なお、☆入会手続き先（学会本部事務局）は、★発表申込先および★事前参加申込先（第39回学術大会運営チーム）とは異なりますのでご注意ください。

### ▼その他

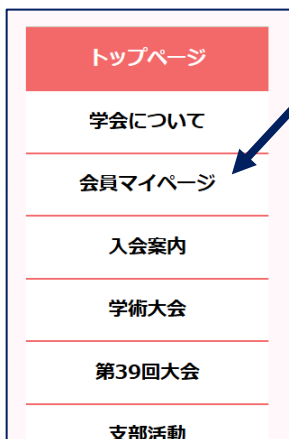
●障がい等により大会参加に関して配慮の必要な方は、2025年5月30日までに第39回大会運営チームまでご連絡ください。

●託児所の準備はございませんので、ご参加の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

●大会参加申し込み時などに記入いただきました個人情報は、本大会運営以外には使用しません。

## ▼会員登録情報確認のお願い ー新年度に伴うご住所・ご所属のご変更などー

新年度を迎え新しい職場に移られるなど、ご住所やご所属の変更がございます場合、今一度会員情報の変更をお願いいたします。



### <会員情報の変更方法>

①学会HPの左側サイドメニューより**会員マイページ**からログイン  
<https://jahbs.smoosy.atlas.jp/mypage/login>

②会員マイページトップ画面の左サイドメニューの「**会員情報**」⇒「**会員情報を変更する**」をクリックして会員情報変更/入力画面よりご変更ください。

### <メールアドレス登録（変更）のお願い>

会員管理システムの導入に伴いメールアドレスの登録が必須となりました。メールアドレスが**未登録の方は、すみやかに学会事務局（[info@jahbs.info](mailto:info@jahbs.info)）までお知らせください。**

※すでに登録済みの方は、会員マイページから上記と同様の手順で変更可能です。



中川晶作  
土仏ギャラリー

「十一面観音」

今回も  
素敵な作品を  
いただきました

ほっとひと息





## ▼「第14期理事・監事選挙」結果の公示 (2025年1月17日開票)

■第14期理事・監事(任期:2025年6月1日～2028年5月31日)

A 理事(9名):

<健康科学系(1名)> 吉岡隆之

<看護学系(3名)> 岡美智代、任和子、安酸史子

<歯学系(1名)> 深井稜博

<医学系(2名)> 中川晶、元村直靖

<心理学・福祉学系(1名)> 梓川一

<社会学系(1名)> 道信良子

B 理事(5名): 河口てる子、諏訪茂樹、蓮井貴子、花家薫、樋口倫子

監事(2名): 天野雅夫、宮本眞巳

(選挙管理委員会: 村上真(委員長)、藤田裕一、酒井幸子)

### ◆第113回東京支部研究会実施報告

### 行動変容を支援する動機づけ面接 (MI) とコーチング2025

諏訪 茂樹

第113回東京支部研究会は「行動変容を支援する動機づけ面接 (MI) とコーチング2025」というタイトルにより、2025年2月23日(日)の13:00から4時間にわたり、Zoomオンラインにて実施されました。

研究会では、まずは諏訪による導入講義「行動変容ステージと支援技術」からは始まり、続いて瀬在泉先生による演習1「無関心期・関心期の動機づけ面接 (MI)」が行われ、さらに演習2として諏訪による「準備期・実行期のコーチング」が行われ、最後に質疑応答とまとめの時間となりました。

参加者からは「ぜひ、明日からの実践で試してみたいと思いました」「とてもためになる研修に参加できてよかったです」「ハッとさせられるお話ばかりで、明日から意識していきます」「無意識に行っていた質問という行為が、自分の圧の強さになっていた可能性を感じました」「先生たちの雰囲気も穏やかで安心して講義・ロールプレイングを受けることができました」など、それぞれの気づきや感想が寄せられました。

今回は2024年2月に実施した第111回研究会が好評であったために、同じテーマによる実施となりました。全国の医療職、福祉職、教育職など、計45名(会員16名 非会員29名)の参加申し込みがあり、3連休の中日であるにもかかわらず、熱心な学習の機会となりました。学会の内外からの高い期待に応えるべく、2026年2月にも同じテーマによる研究会を予定しており、夏には広報を開始したいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 行動変容を支援する 動機づけ面接(MI)とコーチング





## ♣【本の紹介】「矯正職員のためのリフレクティング・プロセス」

矢原隆行著 公益財団法人矯正協会, 2024年9月12日発行, 全208頁

蓮井 貴子 (日本赤十字北海道看護大学)

刑務所等の矯正の現場は『「懲らしめの場」から「更生・社会復帰の場」へと大きく舵を切られたと言ってよいでしょう』。本書の第1章には「日本の矯正施設をめぐる社会変化」としてこのように述べられている。

2001年12月、名古屋刑務所で複数の刑務官による受刑者に対する暴行事件を契機として、法務大臣の指示のもと「行刑改革会議」の提言がまとめられた。2003年にまとめられたこの提言では『受刑者が人間としての誇りと自信を取り戻し、真の意味での改善と社会復帰のための処遇を施すことは、職員に対しても、自らの職務に本来の使命感と充実感を与えることになるものと確信する』と、受刑者の尊厳回復と社会復帰を実現する処遇が職員自身の使命感にもつながるという重要な言及がされている。



これまでの矯正職員と受刑者の関係性は「指導・監督する側」と「反省を促される側」の1対1の関係性であり、刑務所内での秩序の維持が優先されてきた。この1対1の緊張した関係性の中では反省が促されても内省にはつながりにくいのではないだろうか。また、このような環境では職員同士の関係性の中にも緊張を強いられ、自由に意見を言いにくい組織風土が生まれることになる。前述の提言の中では職員の人権意識や組織風土などが指摘されており、本書ではこうした課題に対応するため、矯正施設におけるリフレクティング・プロセスの実践について具体的に示されている。

本書の中でリフレクティングは『人間と人間がかかわる場合において、お互いを尊重しながら、風通しのよいコミュニケーションを生み出すための工夫に満ちた会話ということができます』と説明されている。これは矯正施設における新たな対話の可能性を示すものである。

筆者は本書の中でリフレクティング・プロセスについて「そこで会話が行われる場のあり方自体を、参加者全員にとって風通し良く、居心地のよいものにしていくプロセス」と説明している。そして、「人が生き生きと更生できる場はそれ自体（そこには、そこを構成する個々の職員の状況、職員間の関係、および、運営や組織のありかた全体が含まれます）が風通し良く、気持ちの良いものであってこそ、はじめて有効なものになる」と述べている。

2025年6月の刑法改正により受刑者の立ち直りを重視する「拘禁刑」が導入され、それを前にオープン・ダイアログを取り入れた社会復帰支援など、受刑者の人間性を重視し、「指導・監督する側」と「される側」の関係性から対等な人間関係の中で支援を行う取り組みが行われ始めている。リフレクティング・プロセスはこのオープン・ダイアログの柱となるものである。

矯正の現場に限らず、対人支援の現場においては職員間の人間関係や多職種連携等、風通しのよい組織風土をつくる必要がある。本書はその方法が具体的に書かれており、矯正現場のみならず広く対人支援に関わる者にとって貴重な手引きとなる一冊である。

## 「中川記念奨励賞」候補者ならびに「奨励研究員」の募集

### 【日本保健医療行動科学会中川記念奨励賞】

中川記念奨励賞の候補者を募集いたします。受賞年度において45歳未満もしくは学会入会后10年未満の通常会員で、保健医療行動科学に関する学術的研究あるいは教育を含む諸活動において、顕著な業績を上げている方が受賞の対象になります。自薦・他薦いずれでも結構ですので、奮って応募してください。応募者は、本学会 Web サイトに掲載されている最新の「中川記念奨励賞内規(2023.6.17.最終改定版)」及び「中川記念奨励賞候補者の業績についての選考内規(2023.6.17.最終改定版)」を参照の上、履歴書及び研究業績リストを学会事務局に送付してください。

### 【日本保健医療行動科学会奨励研究員】

本学会では奨励研究員の制度を設けています。これは正会員で、関連分野での研究活動を行いながらも常勤の所属に恵まれない方々のために、少しでも社会的不利益を補完・救済することを目的とした制度です。この身分を希望される方は、希望の理由と履歴書及び研究業績リストを学会事務局に送付してください。奨励研究員の呼称を認められた方は「日本保健医療行動科学会奨励研究員」の身分を用いて論文の執筆や学会発表ができます。対象者の年齢制限はなく、任期は1年間とし、状況に応じて更新が可能です。審査・登録にかかる費用は無料です。応募期限は特にありません。

## 日本保健医療行動科学会雑誌「投稿論文」随時受付中

- 学会雑誌に掲載する投稿論文は随時受け付けています。
- 雑誌の発行は年2回(6月及び12月の予定)です。
- 投稿原稿の種類は、原著論文、総説、研究ノート、資料、実践・活動報告です。
- 投稿論文は「オンライン投稿・査読システム(Editorial Manager®)」にて受け付けとなります。
- 投稿手順等の詳細は本学会 Web サイト(<https://www.jahbs.info/>)の「『雑誌』投稿について」のページに掲載しています。

## 事務局だより

- 2024年度会費(2024年4月1日～2025年3月31日)及びそれ以前の会費が未納の方は、早急に「会員管理システム」よりお支払いの手続きをお願いいたします。会費納入に関してご不明な点やご相談などがございましたら事務局にご連絡ください(会員管理システム導入に伴い、会費の納入はオンラインでの銀行振込(りそな銀行宛)またはクレジットカード決済(各種)となります)。詳しくは本学会 Web サイトをご参照ください。
- 2013年6月(第10期)以降の理事会議事録及びニュースレター(第81号～第99号)を学会 Web サイトの会員専用ページに掲載しています。会員専用ページへのリンクは会員マイページトップにあります。ニュースレター第100号以降は学会 Web サイトで一般公開しています。
- 退会をご希望の場合は、本学会 Web サイトから退会届の様式をダウンロードし、必要事項をご記入の上、PDF ファイルをメールに添付して事務局に送付してください。  
<事務局連絡先 info\*jahbs.info(\*を@に変換してください)>

## 新規会員募集

会員の皆様には、本学会に興味や関心のありそうな方々に、本学会への入会をお勧めいたしますようお願いいたします。なお「日本保健医療行動科学会入会のご案内」は、本学会 Web サイト(<https://www.jahbs.info/>)からダウンロードができます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



編集後記：前回の学術大会が昨年10月。今年の学術大会は6月ということで、あっという間に迫ってまいりました。お忙しい中、ご準備に奔走頂いております大会運営チームの皆様にご心より御礼申し上げます。「人生100年」のテーマ。「100まで生きるぞゲーム」のクリアを目標に設定した昨今の私にとって、とても楽しみな大会です。そのゲームのクリアとは肉体の維持のみで叶うわけではなく、ウェルビーイングを基盤にした多様な戦略、工夫、思考をめぐる高度なゲームだと思えます。何とか100歳にたどり着いて「クリア!」と叫びたい。(林)

発行：日本保健医療行動科学会 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-1-22-702